

二本木小学校 家庭学習の手引き

子どもの学ぶ心と力を育てるために

「宿題が少ない、多い」「家庭学習の内容がわからない」など保護者の様々な声があります。子どもたちは「やっているのに…」「どうしたら身につくかわからない」という声があります。これらの声に答えるために、本校では3年前より「家庭学習の手引き」を作成し、家庭学習を推進してきました。小学校低学年から高学年まで、子どもの成長に応じた取り組み方の例を載せました。

昨年度3学期に行った保護者アンケートの「子どもはすすんで家庭学習をしていますか」という質問に、約80%の家庭が「している」「だいたいしている」と回答しました。これまでの65%のから、大きく向上しました。今後も引き続き、この手引きを活用して、親子で家庭学習の取り組み方・時間や内容について話し合ってください。

また、二本木小学校は「なかよく、あいさつ**日本一**」をめざしています。ご家庭でも話題にさせていただくとともに、以下の点についてご協力ください。

すすんであいさつする子

あいさつは、なかよく生活するための第一歩です。また、親しき仲にも礼儀あり。友達や大人に、場にあったいねいな言葉づかいをすれば、なかよく生活できます。

すすんで手伝いする子

子どもは体験から想像力、考える力を育み、人の苦労や優しさを理解します。手伝いは一番身近な体験活動です。継続させることで、見通しをもって取り組むことを学びます。

話を聞き、自分の思いを伝える子

子どもの話を大人が熱心に聞けば、子どもは話す楽しさを実感し、つらいときも話してくれます。話を聞いてもらえる体験は、聞く力も育てます。

人に感謝し、親や年上の人を敬う子

人と敬う心をもたない子は、人に敬われることはありません。「敬う」とはその人を好きになり感謝の気持ちをもつことです。親が人に感謝し敬う心をもてば、その心は子どもに伝わります。そして、親や人を敬い、感謝する心が育ちます。

がまんし、困難を乗り越える子

子どもは失敗を繰り返し、困難に出会うことにより、見通しをもって取り組めるようになります。また、欲しい物をすぐ与えず、がまんさせることで、目標をもたせて努力して得たときこそ、喜びを実感し、物を大切にします。がまんとは自分の気持ちをコントロールすることです。家庭でも約束を決めて、親子で守ることで強い心が育ちます。



低学年
(1・2年生)

学習時間の目安 20分程度



保護者のサポート



- 子どものがんばりを認め、できたことをほめましょう。
- 子どもの考えや様々な疑問に向き合い、すぐに答えるのではなく、いっしょに調べ、考えましょう。
- 早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身につけられるようにしましょう。

基本的な生活・学習習慣づくりをサポートする

こくご

いま がっこうで ならっているところを

おんどく きょうかしょをおおきなこえでよめるようにしましょう。まいにちつづけて、れんしゅうしましょう。

かんじ ただしいしせいで、ていねいにゆっくりかきましょう。また、かきじゅんやかたちにきをつけてかきましょう。



さんすう

けいさん ゆっくりせいかくにできるように、ただしいけいさんのてじゅんをみにつけましょう。

ただしくけいさんできるようになったら、はやく、せいかくにできるようにしましょう。

そのほか

- としょかんやこうみんかんでほんをかりたり、はくぶつかんにいってしらべたりしましょう。
- おやこでうんどうしたり、はなやむしなどのしぜんにふれるようにしましょう。
- たのしかったことやうれしかったことをえにつきやにつきにかいてみましょう。



- 音読は、立って読むと、大きな声が出やすいです。いろいろな本の読み聞かせをしてあげましょう。また、興味や関心に応じた本を身近に置いてあげましょう。ぜひ図書館・公民館を活用しましょう。



- お皿を並べたり、お菓子を分けたりなどの日常生活で楽しく数量に触れる経験を多くさせるようにしましょう。
- はやさよりも、正しい手順でできているかを見ましょう。

- 鉛筆やはしの正しいもち方が身に付くまで見てあげてください。
- 体にあった椅子を用意し、よい姿勢で座れるようにしてください。
- 20分間よい姿勢で座り続けられたら合格です。





中学年
(3・4年生)



保護者のサポート



- 子どものがんばりを認め、できたことをほめましょう。
- 子どもの考えや様々な疑問に向き合い、すぐに答えるのではなく、いっしょに調べ、考えましょう。
- 時間の管理を自分でできるように、少しずつまかせるようにしましょう。

がくしゅうじかん めやす 30分 ていど
学習時間の目安30分程度

子どものやる気を支え、
学習習慣の定着を図る。



国語

今 学校で 習っているところを

音読

まいにおんどく
毎日音読をしましょう。

漢字

ただ か じゆん で、せいかく
正しい書き順で、正確に
文字が書けるようにしまし
ょう。とめ、はね、はらい
にきをつけて、れんしゅう
練習しましょう。

- 音読は、立って読むと、大きな声が出やすいです。読み終わったら、心に残ったことなどを聞いてあげましょう。また、図書館・公民館を活用し、いろいろな本に出会わせてください。

算数

計算

かけ算やわり算など正しい
けいさんてじゆん み つ だけ
計算手順が身に付くよう、
まいにちく かえ れんしゅう
毎日繰り返し練習しまし
ょう。

- 三角定規や分度器、コンパスが正確にそうさできるようにしましょう。

- 九九が暗唱できるか確認してあげましょう。
- 答え合わせを一緒に行い、間違った問題は、必ずやり直すようにしてください。

そのほか

- 図書館や公民館で本を借りたり、博物館を活用したりしましょう。
- おやこ うんどう
親子で運動したり、自然に触れたりして、たいげん
体験をたくさん
しましょう。
- にっき さくぶん などぶんしょう
日記や作文など文章を書く
機会を増やしましょう。

- よい姿勢で書いたり、食事をしたりしているか見てあげましょう。
- 学習する時間を決めるとともに、遊びやテレビ、ゲームなどのルールを決め、徹底しましょう。



高学年 (5・6年生)



保護者のサポート



- 子どもの自尊感情を大切にするとともに、がんばりを認め、できたことをほめましょう。
- 子どもの考えや様々な疑問に向き合いましょう。自分でできることは、挑戦・解決させ、その過程を見守りましょう。

学習時間の目安 **40分**程度

見守り、励まし、自主性を伸ばす。

国語

今 学校で 習っているところを

音読 情景を浮かべながら感情をこめて読めるようにしましょう。詩や俳句などを暗唱したり、朗読したりしましょう。

漢字 漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。国語辞典や漢字辞典を使う機会を増やしましょう。

読書 いろいろな種類の本を選び、毎日読むようにしましょう。

算数

計算 はやく正確に計算できるようにしましょう。

• 答えの確かめができるようにしましょう。

• 新しく学習する教科書の内容を読むなどの予習を行い、学習の見通しをもって授業に臨みましょう。

そのほか

• 図書館や公民館、博物館を活用しましょう。

• 家族とおしゃべりをしながら散歩し、自然に触れる体験をたくさんしましょう。

• 日記や自主学習など文章を書く機会を増やしましょう。

- 教科書の音読を続け、すばらしい文章にたくさん触れると表現力が高まり、感性も豊かになります。また、図書館・公民館を活用し、いろいろな本に出会わせてください。

- 答え合わせを一緒に行い、間違った問題は、必ずやり直すようにしてください。
- わからないところがあるときは、次の日に学校で先生に教えてもらうようにさせてください。

- 学習する時間を決めるとともに、遊びやテレビ、ゲームなどのルールを決め、守るようにしましょう。

